

## 小さな親切

福岡県 稗田小学校 5年 永田 心音

(親切ってなんだろう。)

と思って、一文字ずつ国語辞典で調べてみることにしました。

そうすると、「親」という字は「子のある人、子のあるもの」「中心となるもの、大きいもの」「トランプなどのゲームで、中心になる役」という意味がありました。

次に、「切」という字を調べました。「切」とは、「切ること」「さしせまるようす」「心からていねいに」という意味がありました。

どうして、切が親切なのかが不思議だったけど、調べてみて「切」とは、「心からていねいに」という意味があって、わたしはなっとくしました。わたしはわからないところが一つへりました。

そこで、わたしの周りに親切がないか、さがしてみることにしました。

ある日、おばあちゃんの家で、弟と同じ年の男の子のいとこと、そのお母さんが遊びに来ていました。すると、いとこのお母さんから「体にいいことをしよう」と提案があり、「そうだ、逆立ちをしよう」ということになりました。

その男の子は逆立ちができず、クッションを頭の下において、何回も足でゆかをかけていました。わたしは新体そを習っていて、逆立ちが得意なので、男の子に教えてあげることにしました。

まず、わたしがお手本を見せてあげることにしました。次に、その男の子にやってもらいました。でも、なかなかうまくいきませんでした。そこで、「ゆかをすぐ見ると逆立ちがしやすいよ」とアドバイスをしました。そして、わたしが少しサポートして、何度も練習をしました。

そうするうちに、足をけり上げたときに手で支えてあげると、少しフラフラするけれど逆立ちができるようになったのです。すると、その男の子がガッツポーズをしたまま、

「やったー。ぼくできたよ。お姉ちゃんありがとう。」

と言って、とてもうれしがっていました。

実は、そのお母さんも逆立ちができなかったのです。そのお母さんが言いました。

「わたし、運動が苦手な。逆立ちもできないから、教えてあげたくても教えてあげられないの。逆立ちをいっしょにしてくれてありがとう。」

その夜、おばあちゃんに今日のできごとを話しました。するとおばあちゃんが、

「そんないいことをしたの。すごいねー。」

と、頭をなでてくれました。

わたしが、一生けん命でいねいに、男の子に教えてあげたこのできごと、これは親切ということなのかな、とわたしは思いました。

親切とは、自分も相手もおたがいにいい気持ちになれることだと感じました。

これからも、こんな小さな親切を続けていきたいと私は思いました。